

右京三条一坊六町の調査

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



9世紀前半の池の洲浜（北から）

2002年1月から2月にかけてJR二条駅西方で実施した発掘調査によって、平安時代前期の邸宅跡の一部が見つかりました。

この調査は1992年度から継続しているJR二条駅地区周辺の土地区画整理事業にともなうものの一つです。周辺は平安京右京三条一坊にあたり、これまでに右京職（三町）、穀倉院（七町）の一部、また朱雀大路・姉小路・三条坊門小路・西坊城小路の側溝など、平安京関連の重要な遺構を多数検出しています。

今回の調査地は六町にあたり、

この東側ではすでに池や建物の一部が確認されていました。今回はその池の対岸と池の東にあった建物の東西規模を確認することができ、六町に平安時代前期に池を持つ1町規模の邸宅が存在していたことが明らかになりました。

建物は南^{ひさし}庇の東西棟の掘立柱建物で、東西の柱間は3.0m、東西列6間分あり、庇の出は3.6mの大きな建物です。池は前回確認していた東岸の洲浜から西に約36mの地点で、対向する西岸の洲浜を検出しました。洲浜は改修を受けており9世紀前半と後半の2時期

のものを確認することができました。さらに、池の堆積土の最上層から出土した遺物の年代観から、この池が遅くとも10世紀までには廃絶していたこともわかりました。

9世紀後半の池は下層の池を青灰色の土で埋め立て、その上面に径3～10cm程の小石や瓦片を敷き詰めて、なだらかな傾斜の洲浜を形成していました。この石敷きの洲浜は池部の手前2m程の所から明灰色の砂敷きになり、汀付近には護岸のためと思われる柱穴も検出されました。陸部も同様に下層の洲浜と埋土の上面を整地して

います。

下層の池の岸にも上層の池と同様に石敷きの洲浜が作られていました。こちらの洲浜は地山の礫層に薄く黒褐色の土を敷き、その上に径3cm程の小石が密に敷き詰められていました。池に向かうなだらかな斜面は汀部分で傾斜が強くなり、肩口で石敷きは途切れています。洲浜の西側には北西から南東方向の流路状の堆積があり、ここから取水していたことがうかがえます。堆積状況からみて一時期の激しい流れにより下層の洲浜の一部は流され、しばらく放置された後に改修されたようです。

池跡からは土器類をはじめとするさまざまな遺物が出土しました。そのなかで注目すべき遺物として紀年銘のある題箋があります。片面に「斎衡四年三條」(857年)、その左にやや小さく「戊戌」とあり、裏面には「正倉帳」と記されています。このほか「阿古継」と人名が墨書された土師器皿や蓮・菱・松・梅・桃・桜など、池やその周辺に生育していたと思われる植物の種や木片、花粉なども出土しました。

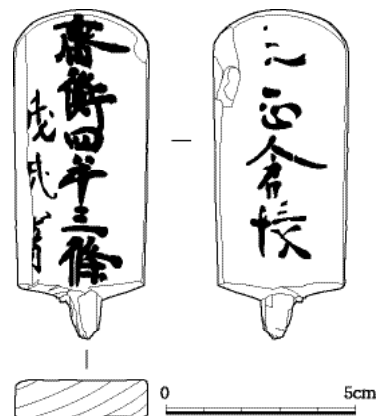
六町は『拾芥抄』右京図によれ

ば右大臣藤原良相の邸宅「西三条第」とされ、百花亭とも称されていました。『三代実録』には、貞観元年(859)四月、皇太后藤原順子が東宮より当邸に遷御し、ほぼ一年間滞在していたこと、同八年三月には、清和天皇の行幸があり、桜花の宴を開いて文人に百花亭の詩を賦せしめたことなどが記されています。その後の当邸の伝領・消息は全く不明とされていますが、散位従四位下大江公仲が嘉保二年(1095)に残した財産処分状には、「西三條地壹町在右京三條一坊六町、建三間四面屋一宇」(『平安遺文』第1338号)と記されています。

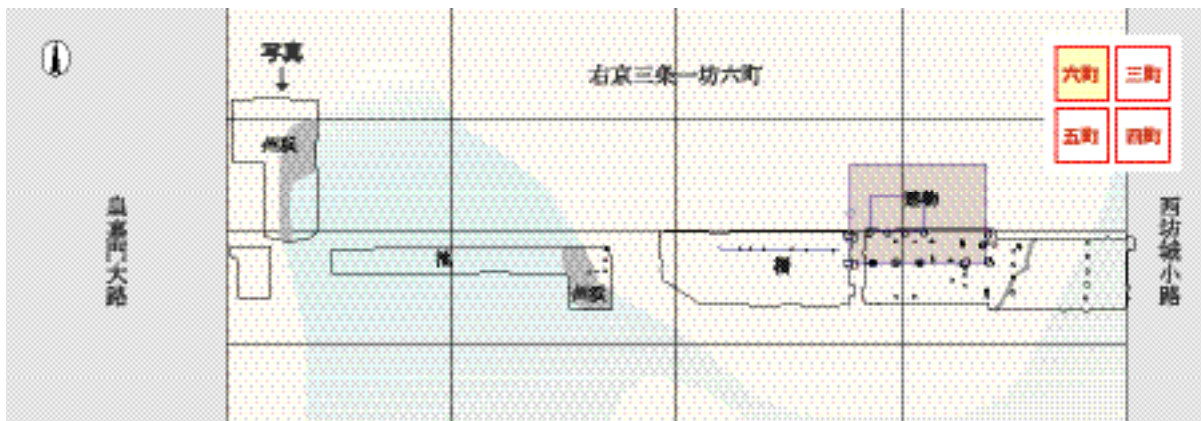
ただ、「西三条第」の位置については異説があり『拾芥抄』中、諸名所部第20には「三條朱雀西、良相大臣家、俗云百夜(衣)公事」とし、また『二中歴』第10、名家歴にも「西三條 朱雀西三條北良相公家」とするなど、三條と朱雀の北西角、すなわち四町に該当するとも解釈できる記事があります。しかし別に『今昔物語集』では、「西三條ノ右大臣ト申ス人御ケリ、...大臣ノ家ノ西ノ大宮ヨリ八東、三條ヨリ八北、此レヲ西三條ト云フ」とあることや、前述の大江公

仲の財産処分状に「西三條地壹町在右京三條一坊六町」との記述があることなどから「西三条」とは三條一坊全体を示す表現とも考える事ができるのです。さて、「西三条第」は四町あるいは六町のどちらにあったのでしょうか。

今回の調査で確認した苑池や建物の規模、出土土器の構成などから、この遺跡が六町全域を占めた高位の貴族の邸宅であったことは明らかです。また、題箋に記載された「三條」という字句や、公仲の書状に「西三條地...六町」とあるのも示唆的です。これらのことから、この地を「西三条第」の候補地のひとつとすることは充分可能といえます。しかし、結論を出すには四町の調査を待つ必要があるでしょう。(平尾 政幸)



紀年銘のある題箋



調査地と六町の模式図(1:1,000)